

特別養護老人ホーム入所申込みの状況（令和5年4月）

市町村	入所申込者	入所の必要性が高いと考えられる者	備 考
大阪市	1,918	1,623	<p>○特別養護老人ホーム入所申込者の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村を通じ、調査時点を令和5年4月1日として把握したもの。</li> <li>・入所申込者数とは、各特別養護老人ホームへの申込者について、市町村で複数施設への申込を整理・集約し、既に他の介護保険施設に入所している者を除き、1年以内に入所を希望している者の数を集計したもの。</li> </ul> <p>○「入所申込者」6,560人</p> <p>○「入所申込者」のうち、「入所の必要性が高いと考えられる者」5,536人</p> <p>○「入所の必要性が高いと考えられる者」の考え方 入所の必要性を判断するにあたっては、要介護度の他に、家族の状況（介護者の状況）や居住環境等により在宅サービスを利用しても在宅生活に支障がある等の状況を勘案することが必要となるが、入所申込者の個々の状況を全て把握することは困難であるため、要介護度と入所希望時期に着目し下記①、②の人数を「入所の必要性が高いと考えられる者」と推定した。</p> <p>①「要介護度4及び5」の者について 厚生労働省が示した基本指針（H18.3.31 厚労告314号）において、平成26年度の目標値として、介護保険3施設の利用者合計のうち、要介護度4及び5の認定者の占める割合を70%以上にするなどとされているなど、入所者について、重度者重点化方針が示されていることから、全員を対象者と算定（3,878人）</p> <p>②「要介護度3」の者について 要介護度が中程度であり、必ずしも全員が入所の必要性が高いとは言いきれないが、本人もしくは家族が、すぐにも入所したい（させたい）という意向を示していることを勘案して、入所希望時期を「早期希望（3ヶ月以内）」と回答した者に限って対象者と算定（1,658人）</p>
堺市	688	585	
豊中市	256	223	
池田市	54	42	
吹田市	283	233	
箕面市	49	40	
豊能町	23	17	
能勢町	10	6	
豊能計	675	561	
高槻市	196	176	
茨木市	246	220	
摂津市	131	121	
島本町	35	31	
三島計	608	548	
枚方市	364	325	
寝屋川市	256	232	
大東市	73	59	
交野市	86	64	
くすのき	353	293	
守口市	173	138	
門真市	82	71	
四條畷市	98	84	
北河内計	1,132	973	
八尾市	163	107	
柏原市	54	44	
東大阪市	280	226	
中河内計	497	377	
富田林市	81	65	
河内長野市	79	62	
松原市	106	94	
羽曳野市	106	91	
藤井寺市	38	36	
大阪狭山市	61	50	
太子町	27	24	
河南町	11	9	
千早赤阪村	20	3	
南河内計	529	434	
岸和田市	118	105	
泉大津市	65	53	
貝塚市	116	99	
泉佐野市	23	17	
和泉市	57	51	
高石市	12	9	
泉南市	72	57	
阪南市	20	19	
忠岡町	2	2	
熊取町	18	16	
田尻町	9	6	
岬町	1	1	
泉州計	513	435	
総合計	6,560	5,536	
政令市・中核市を除外した計	2,156	1,806	